

と一方の新幕下の玉乱  
そろって3連勝発進が

玉乱は育成会を順調  
に5場所通過、自力  
岳は10場所を要して  
の昇進。玉乱は逆左差  
磯雷光を安定した左差  
しから寄り切り、自力  
岳は三日目に、こちら  
も待望の新幕下昇進を  
果たした松山改め松田  
山に左を差し勝って寄  
り切った。

これにより、四日目  
は錦風対春日根の直接  
対決が組まれることに  
なる。果たして同部屋  
決着か、どちらにして  
も楽しみな対戦となる。

かたや、8人を擁した桐壺部屋は、徳ノ川  
が唯一2勝1敗としたのみで、他は黒星先行  
という結果となった。魁電の引退による付留  
として初土俵を踏んだ羅維伝は1勝2敗で残留  
には連勝するしかなかった。(山里)

### 三段目／序の口

三段目での3連勝は磐若、巨鵬、若今津、  
徳皇の4力士。磐若は東筆頭での勝ち越し、  
来場所の幕下昇進を確実なものとした。

先場所西五枚目で勝  
ち越しながら東三枚目  
に止まった秋田部屋の  
難波山は二連勝で錦風  
部屋の磐若と対戦。

錦風部屋といえれば親  
方の気持ちと裏腹に地  
方出身力士キラーとし  
て悪名高いこと有名  
ほ幕下昇格が確実な  
磐若だけにここは難波  
山に花を持たせてほしいと願う協会執行部の  
四日目に降となった。



難波山●(寄り切り)○磐若



自力岳○(寄り切り)●松田山



玉乱○(寄り切り)●磯雷光

東六枚目で亀風を破  
り3連勝の巨鵬、四日  
目の相手を届け無用が  
難波山を届けた磐若が  
予想される。先場所千  
秋楽、東筆頭で2勝2  
敗で勝てば幕下とい  
大一番で苦杯を舐めた  
相手。今場所こそは正  
義の鉄槌を下して難波  
山の無念を晴らすと意  
気盛んだ。

若手が育たない霧ヶ  
浜部屋にあって奮闘し  
ているのが若今津。序  
二段から戻った今場所  
3連勝と一人気を吐い  
ている。

先場所序二段優勝し  
部屋の勢いそのままに  
今場所も三段目優勝候  
補の強久根だったが、  
九十九部屋の力士だけ  
には強いながらも引き落  
しに敗れ、連続優勝は  
なくなった。

先場所序二段で4勝  
を挙げて三段目に昇進  
した富士浪部屋は亀風、  
青木竜、武乃花だが、  
今場所も亀風、武乃花  
は2勝1敗と好調。幕下から陥落した富士  
海も西筆頭で2勝1敗と一場所での復帰も目  
前だ。

序二段は紅大江、紅  
の華、逆岩、荒瀬が3  
連勝。やはり序二段で  
も春日根勢が強い。先  
場所序の口優勝の紅の  
華がここでも3連勝。  
難敵竜雲を一蹴した力  
を見る限り優勝候補の  
筆頭だ。

同じく3連勝の紅大  
江。流石に序二段では力の違いを見せつける



竜雲●(寄り切り)○紅の華



徳皇○(引き落し)●強久根



若今津○(寄り切り)●武乃花



亀風●(寄り切り)○巨鵬

と、逆岩は大器と評判の大勢を破り、錦風部  
屋の好調をアピールした。



鹿ノ郷●(寄り切り)○紅大江

今場所序二段付け出  
して初土俵を踏んだ荒  
笠部屋の荒瀬が3連勝  
が残り長いトシネル  
が続く荒笠部屋の希望  
の星となるか。

四日目の相手は地方  
キラーの錦風部屋逆岩  
と予想される。はたし  
て荒瀬に勝機はあるのか。対戦が待ち遠しい。

序の口の3連勝は飛葉、森倉、内藤。

注目は九十九部屋か  
ら久々の新弟子の森倉  
三日目、優勝候補の春  
日根部屋伊勢の里を寄  
り切り、一気に注目の  
的となっている。

先場所序二段で負け  
越して序の口から出直  
しとなった住之江部屋  
の内藤だが、今場所は  
好調。武藤が後輩には  
負けてはならぬとい  
気合十分だ。

鹿賀乃戸の飛葉は親  
方中に古都ヒヴァア  
カウトした逸材。同じ  
くブラハラ出身の英部  
の武原とともに旋風を  
起こせるか。(鹿賀戸)



桃花田●(上手投げ)○内藤



伊勢里●(寄り切り)○森倉



荒瀬○(寄り切り)●栗駒



大勢●(寄り切り)○逆岩

## 鹿賀乃戸親方北見へ

友砂理事長が東北、関西  
と交流を深めている中、6  
月某日、鹿賀乃戸親方が北  
海道旅行の途中で、協会員  
としては最北端、北見に在  
住の霧ヶ浜親方を訪ねた。

霧ヶ浜親方といえば、こ  
のところ毎場所千秋楽に  
は遠路はるばる上京し、紙  
相撲に参加している大の好  
角家だが、協会関係者が地  
元の北見を訪れるのは今回  
が初めて。

北見の名物を食べたいと  
の鹿賀乃戸親方のリクエスト  
に答えて出てきたのは「  
北見塩やきそば」。たかが  
焼きそばと侮るなかれ。北  
海道の海の幸、ホタテとイ  
力をふんだんに盛り込んだ  
贅沢な一品。

北海道といえどイクラ丼  
やうに丼が有名だが、北見  
塩やきそば、絶品でした。北  
見の汽車の時間の関係で北  
見の滞在はわずか2時間  
くらいであったが、行ってよ  
かったと思わず口をついた  
旅となった。

